

新生児聴覚検査実施状況調査結果概要（分娩取扱産科医療機関）【令和5年実績】

（令和6年10月実施）

【調査対象】 分娩取扱産科医療機関

【調査対象期間】 令和5年1月から令和5年12月

1 回答数

対象産科医療機関数	72
回答数	68

回答のあった68施設の分娩総数

令和5年（令和5年1月～令和5年12月）分娩総数	24,350
--------------------------	--------

2 産科医療機関での保有検査機器の状況（自動ABR保有率：79.4%）

項目	医療機関数
整備している	68
自動ABRのみ	48
OAEのみ	14
両方の機器を整備している	6
整備していない	0

3 初回検査の実施状況 ※ 1施設複数回答（希望者及び他院出生児）

項目	医療機関数
1 全出生児に実施	44
2 希望者のみ実施	24
検査職員等が確保できないため	0
検査時間の制約により他の業務に支障が出るため	0
自己負担があるため	19
その他 ※1	5
3 ハイリスク児のみ実施	0
4 その他	1
5 実施していない	0

他院出生児

※1 保護者の希望（2）、検査目的を説明し同意の上実施（2）、道協定参加以外の市町村は自己負担となるため

3-1 初回検査の実施状況（令和5年1月～令和5年12月） ※ 回答のあった医療機関について集計

検査実施状況				結果				
対象児数	受検者数 ※1			パス（異常なし）（人）		リファー（要再検）（人）		結果不明（人） ※2
	自動ABR	OAE	検査方法不明	自動ABR	OAE	自動ABR	OAE	
24,374	18,227	5,966	0	16,391	5,166	633	310	1,539

※1 【自動ABR】と【OAE】両方実施あり、合計人数が受検者数と合わない

※2 【結果不明】3施設あり

4 確認検査の実施状況

項目	医療機関数
1 要再検児全員に実施	58
2 希望者のみ実施	4
3 その他	1
4 実施していない	5
他医療機関耳鼻科を紹介	4
他医療機関小児科を紹介	0
特に対応なし	1

医師の判断による

4-1 確認検査の実施状況（令和5年1月～令和5年12月）

検査実施状況				結果				
対象児数 ※1	受検者数			パス（異常なし） （人）		リファー（要再検） （人）		結果不明（人） ※2
	893			751		107		35
	自動ABR	O A E	検査方法不明	自動ABR	O A E	自動ABR	O A E	
894	676	217	0	564	187	77	30	

※1 確認検査を実施する63施設のうち受検者がいたのは47施設（うち1施設が対象児数未回答）

※2 【結果不明】2施設あり

4-2 確認検査でリファー（要再検）となった場合、生後21日以内に先天性サイトメガロウイルス感染症の検査への対応状況について

項目	医療機関数
1 確認検査要再検児全員に実施	34
2 希望者のみ実施	4
3 その他	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去対象となる症例なく対応なし(4)</li> <li>・個別状況に応じて医師が判断(3)</li> <li>・初回検査リファー児全員に実施(2)</li> <li>・出生児全員に生後21日以内に実施。</li> <li>・母のCHV検査で先天性CHV感染が示唆されたら、出生翌日に児にCMV検査を実施。</li> <li>・NHS結果に関わらず、希望者のみに検査実施。リファーでCMV検査を希望しない場合は、再度小児科から説明。</li> <li>・2週間健診でもリファーの場合に検査実施。1か月児健診でもリファーなら耳鼻科を紹介。</li> </ul>	
4 実施していない	14
他医療機関耳鼻科を紹介	7
他医療機関小児科を紹介	3
特に対応なし	4
未回答	2

\*重複1（耳鼻科又は小児科）

5 初回検査の検査費用

	平均額	最低額	最高額
自動ABR（回答のあった52施設）	5,689円	2,200円	18,800円
O A E（回答のあった18施設）	3,439円	3,000円	5,500円

※ 一定金額及び金額設定なしの医療機関については、平均額の算定基礎から除いている

6 要精密検査となった場合、市町村や保健所への連絡状況

項目	医療機関数
1 連絡している	38
* 複数 回数 回答	
病院所定の様式を使用	2
養育支援連絡票などの既存の連絡票を使用	9
1か月健診の精密検査票を発行	2
母子手帳への記載	12
その他 ※1	14
2 連絡していない ※2	20
3 連絡する事例がなかった	10

※1 「新生児聴覚検査受診票（助成券）」、市町村へ電話連絡

※2 自院（又は紹介先医療機関）にて定期フォローとなるため、体制が整っていない、早産児・児のリスク等で地域へ情報提供が必要な場合に判明していれば合わせて報告、他院へ紹介するため、難聴と診断されていないため、連絡方法や連絡先不明、一度連絡した際連絡不要と言われた、

7 他院で出生した子どもの検査受け入れ状況

項目	医療機関数
受けられない	27
受けられる	41